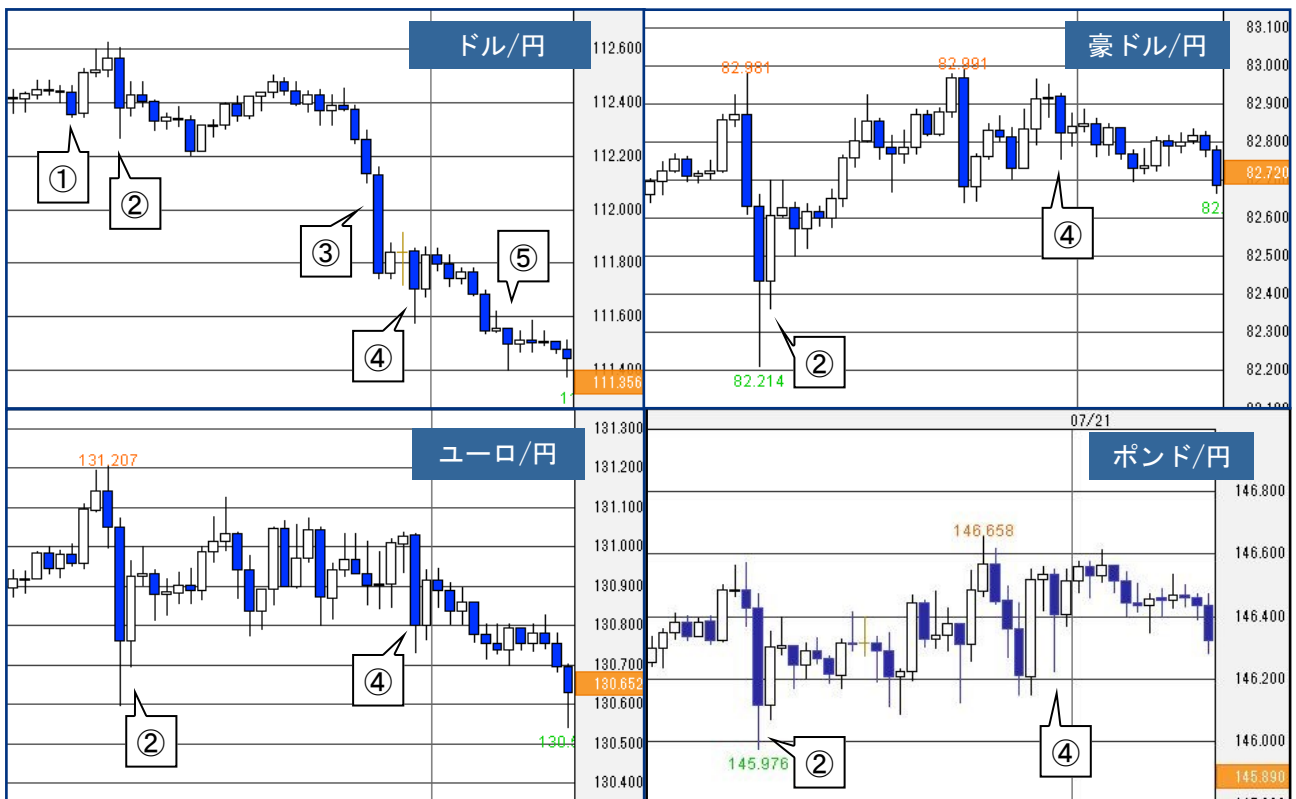


7月23日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米大統領が利上げとドル高に再び苦言

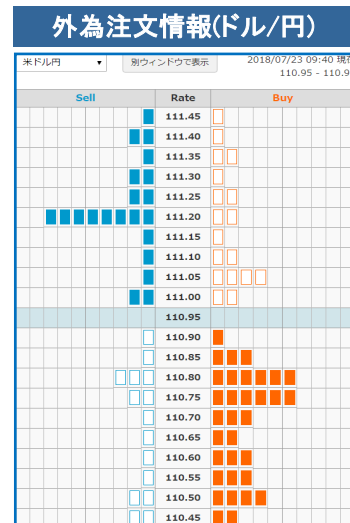
20日(金)の為替相場



期間：20日(金)午前6時10分～21日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 本邦6月消費者物価指数(除生鮮食品)は前年比+0.8%と、市場予想どおりに前月(+0.7%)から加速したが、日銀の物価目標である2.0%には遠く及ばなかった。
- ② 前日のトランプ米大統領による元安けん制にもかかわらず、中国人民銀行が人民元相場の対ドル基準値を1年ぶりの元安・ドル高水準に設定すると、米中貿易摩擦への懸念が高まりリスク回避の円買いが強まった。
- ③ トランプ米大統領が「中国、欧州連合(EU)や他国は自国通貨を操作し、金利を低く抑えている。一方で米国は金利を上げて、ドルはよりいっそう強くなっている」とツイートした事を受けてドルが売られた。
- ④ 「日銀は次回会合で緩和政策の持続可能性を高める方策を議論」「政策の持続性確保へ長期金利目標などの柔軟化も検討」と報じられると円が買われた。
- ⑤ 「トランプ米大統領が米連邦準備制度理事会(FRB)が今年あと2回利上げすると懸念している」とするホワイトハウス当局者の発言が伝わると、ドルが下げ幅を拡大した。その後、ムニューシン米財務長官は「相場操縦の兆候がないか、最近の人民元安を注意深く監視」「人民元安は中国に不当な利益を生み出す、次回の為替報告書で慎重に行動を検討する」などと発言。一方で、「ドル高は米国にとって長期的に重要、短期的なドルの問題にはコメントしない」「トランプ米大統領はFRBやパウエルFRB議長の独立性を尊重」との見解も示した。

20日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22697.88 ▼66.80	6285.851 △23.151	2829.271 △56.726	7678.79 ▼5.18	12561.42 ▼124.87
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25058.12 ▼6.38	0.0350% ▼0.0070	2.616% ▼0.041	1.232% △0.047	0.370% △0.040
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5931% △0.0024	2.8931% △0.0551	70.46 △1.00	1231.10 △7.10	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.500-112.000	129.700-131.100	81.900-83.100	145.200-146.800

【ドル/円】

20日のドル/円は大幅続落となり、111.30円台まで弱含んだ。ドル高や利上げに対する連日のトランプ米大統領の苦言によってドル売りが活発化。日銀が金融緩和の副作用に配慮して緩和策の微調整を検討すると報じられた事で円が買われた面もあった。トランプ大統領への配慮から米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げを休止する可能性は極めて低い上に、ムニューシン米財務長官が「強いドルは長期的に国益」と改めて表明している点などから、ドルの下落は続かないと見る。ただ、日銀緩和策微調整の報道が日本株の下落と円続伸に繋がらないか気になるところではあろう。一部の報道では、日銀は7月末の会合で長期金利目標やETF(上場投資信託)買入れ手法の柔軟化を検討するとの事だ。ドル/円は、日足一目均衡表の転換線(111.97円前後)と基準線(111.27円前後)をいずれも下抜けているだけに、株安による下値模索の動きに注意が必要だろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/23(月)	10:10		(日) 日銀国債買入れオペ(1-3年、3-5年)	-	-
	23:00		(ユーロ圏) 7月消費者信頼感(速報値)	-0.5	-0.7
	23:00		(米) 6月中古住宅販売件数	543万件	545万件
	26:00		(英) ブロードベントBOE副総裁、講演	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。
Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com